

「国語に関する世論調査」を基にした動画の公開について ～「ことば食堂へようこそ!」～

【背景】

文化庁では、平成7年度から毎年度、「国語に関する世論調査」を実施。調査の目的は、日本人の国語意識の現状について調査を行い、国語施策の立案に資するとともに、国民の国語に関する関心を喚起すること。

※本来の意味を選んだ人の方が少ない語句の例

本人の力量に対して役目が重すぎること	62.8%	→	50.3%	→	51.0%
【役不足】			平成14年度	→	平成18年度
本人の力量に対して役目が軽すぎること	27.6%	→	40.3%	→	41.6%
	(※本来の意味)				

国民が慣用句等に親しむきっかけとなるように、また、コミュニケーション上の齟齬が生じないようにするための一助として、「国語に関する世論調査」を基にした動画「ことば食堂へようこそ!」(全20話)を作成し公開することとした。

【内容】

「国語に関する世論調査」において取り上げた慣用句等に関する調査結果を基に、以下の内容で、1話あたり4分前後で制作した動画である。

- ① 慣用句等を本来の意味で理解している人と、本来と異なる意味で理解している人との間で生じるコミュニケーション上の齟齬を紹介するスキット
- ② 「国語に関する世論調査」の調査結果や本来と異なる意味の生まれてきた原因等の解説



【公開】

YouTube の文部科学省公式チャンネル“MEXTch”で、毎月第1金曜日と第3金曜日に新しい動画を1話ずつ追加して公開していく。

4月18日（金）から、第1話の「役不足」を以下のURLで公開。

http://www.bunka.go.jp/kokugo_nihongo/kokugo_sisaku/kotoba_shokudo/index.html

【取り上げる慣用句等と公開予定】

第1金曜日		第3金曜日	
		4月18日	①役不足
5月2日	②煮え湯を飲まされる	5月16日	③敷居が高い
6月6日	④奇特	6月20日	⑤気が置けない
7月4日	⑥雨模様	7月18日	⑦枯れ木も山のにぎわい
8月1日	⑧割愛する	8月15日	⑨流れに棹（さお）さす
9月5日	⑩世間ずれ	9月19日	⑪煮詰まる
10月3日	⑫他山の石	10月17日	⑬御の字
11月7日	⑭すべからく	11月21日	⑮手をこまねく
12月5日	⑯やおら	12月19日	⑰琴線に触れる
1月2日		1月16日	⑱失笑する
2月6日	⑲情けは人のためならず	2月20日	⑳耳ざわり

※「ことば食堂」について

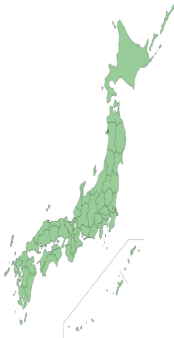
動画の副題の「ことば食堂へようこそ！」は、慣用句等に親んでもらうために、国民に身近な食堂が、日替わりメニューを提供すること、毎回異なる慣用句等を提供する動画のコンセプトとを重ね合わせて使用している。

「国語に関する世論調査」について

平成7年度以降，毎年度，「国語に関する世論調査」を実施

調査対象：全国16歳以上の男女 3,000人
 抽出方法：層化2段無作為抽出法(*)
 調査方法：調査員による面接聴取法

*全国の市町村を規模に応じて分類(層化)した上で，調査対象の市町村を抽出し(第1段)，次に各地点から調査対象とする個人を住民基本台帳を用いて無作為抽出(第2段)する方法



国民の国語に関する意識と
 国語の現状，変化の把握



文化審議会国語分科会での
 審議事項に関連するデータの
 提供

報道等による
 国民の国語への関心の喚起

- 調査年度 15, 16, 17
 - ・敬語についての意識，敬語の使い方等について調査
 - 文化審議会答申「敬語の指針」(平成19年2月)の審議に活用
- 調査年度 15, 16, 18, 21
 - ・常用漢字表についての意識，漢字の使い方等について調査
 - 文化審議会答申「改定常用漢字表」(平成22年6月)の審議に活用
- 調査年度 19, 20, 22, 23, 24
 - ・国語に関する諸問題について調査
 - 文化審議会国語分科会にデータを提供し，課題の洗い出し，整理等に活用

- ・言葉遣いの現状や変化
- ・慣用句の使い方 等

